

4.地域でつくる支え合いのしくみ

しのろで育てよう こころ豊かな未来を担う子どもたち

～篠路地域見守り隊の活動について～

篠路地区コミュニティネットワーク会議青少年部会 部会長 しみず かずお 清水 和夫

篠路地区コミュニティネットワーク会議青少年部会（以下「Cネット青少年部会」）は、「しのろで育てよう こころ豊かな未来を担う子どもたち」を目的に、2000年7月14日に発足しました。15名の役員及び事務局員を中心に、篠路地区で活動する90団体により構成されています。

Cネット青少年部会は、総会や研修会はもとより、青少年の非行化防止等を目的とする夜間公園パトロール（年6回実施）・篠路神社祭典パトロール（毎年9月7日・8日に実施）、ボランティア活動等を行った子どもたちを表彰する善行表彰式（毎年3月上旬実施）等の定期的に行っている活動や、「子ども110番のいえ」登録、「青少年を見守る店」登録等の通年活動を行うことで青少年の健全育成に取り組んでおります。本稿でご紹介する篠路地域見守り隊（以下「見守り隊」）も主たる通年活動の一つとなっております。

見守り隊は、2004年5月に結成しました。

当時は、学校への不法侵入、登下校時の子どもへの声掛け案件や痴漢行為などが全国で相次いで発生し、中には心痛む事件に発展した事例もありました。札幌市内でも2003年5月に刃物を持っ

た男が子どもたちを脅す事件が発生し、学校や地域も子どもたちを守っていく体制づくりに頭を悩ませていた時期でした。

このような社会情勢下にあって、篠路地区においても子どもたちを犯罪から守る地域づくり・登下校中の見守り活動の更なる強化を目指し、見守り隊を結成したところです。地域のあらゆる個人・団体が連携し、各種情報の提供・共有と、子どもたちを温かく見守ることを目的に活動しています。2018年10月現在で2421名もの地域住民が登録しております。

具体的には、子どもたちの登下校時間帯に合わせて、買い物、ジョギングや犬の散歩、花壇の手入れや草取りなどの日常生活を送りつつ、見守り隊のバッジやリボンをつけて見守り活動を行うこととしております。また、Cネット青少年部会の一員としてパトロール活動などにも積極的に参加しているところです。

最近も、学校を出て迷子になってしまった子どもが見守り隊の家に駆け込んだことで学校と連絡がつき、事なきを得たという事例がありました。子どもが困った時に、必ず誰かが見守っている・助ける体制を作っておくことの重要性・必要性を



見守り隊 バッジ



公園パトロールの様子

◆しのろで育てよう ころころ豊かな未来を担う子どもたち

再認識しました。

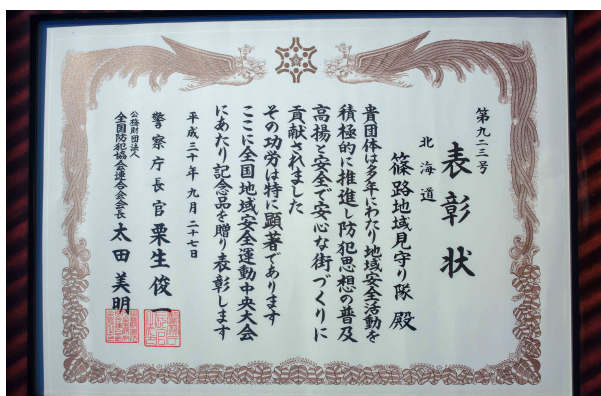
また、このような活動を展開・継続するためには通常、多少の苦勞がつきものですが、見守り隊については関係者が「地域の子どもたちは地域で守る」との考えで一致団結しているため、苦勞は全く感じておりません。事務局としては幸せなことであり、熱意をもって活動や支援をしてきている皆さまに大変感謝している次第です。

このような活動成果が認められ、見守り隊は平成30年度「防犯功勞団体」として全国表彰を受けました。当該表彰は警察庁と全国防犯協会連合会の連名により、地域の防犯や安全に関して功績が顕著な団体に対して贈られるもので、今回は全国で38団体（北海道内は2団体）が表彰されました。

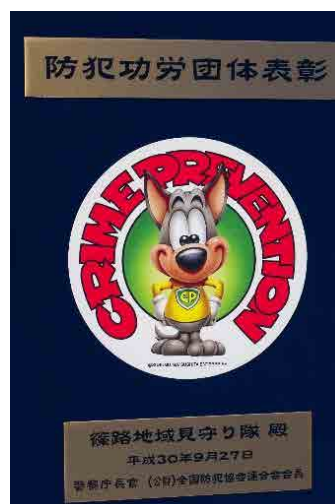
2018年9月27日に明治記念館（東京都港区元赤坂）で行われた表彰式には、私が見守り隊を代表して、警察庁長官及び全国防犯協会連合会会長のお二人から表彰を受けてまいりました。



表彰式



表彰状



記念盾

今回の受賞は大変名誉なことですが、見守り隊の活動のみでは受賞に至らなかったと認識しております。篠路連合町内会並びに構成町内会・自治会、篠路・茨戸地区防犯協会、学校とその関係団体、各種地域団体など篠路地域の皆さまが一丸となって青少年の健全育成と非行化防止、安全安心なまちづくりに取り組んでいる姿勢に対して表彰いただいたものと受け止めております。この場を借りて、皆さまに厚く感謝と御礼を申し上げます。

これからも見守り隊並びに事務局であるCネット青少年部会は、篠路地域の皆さまと連携し「しのろで育てよう ころころ豊かな未来を担う子どもたち」を実現すべく、日々、着実に活動してまいりますので、更なる応援のほどよろしく願いいたします。

〇お問い合わせ

篠路地区コミュニティネットワーク会議
青少年部会 部会長 清水 和夫

TEL & FAX. 011-771-9738